

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
車椅子フルーツバスケット	高養	福祉くらし 2年 (福祉)	坂野千尋 川野二美予

<ねらい>

体験を通して、車椅子を利用している人の気持ちを考える。
車椅子を利用している人も参加しやすいレクリエーションや支援を考える。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

実際に生徒達自身が車椅子に乗り、フルーツバスケットをするうえでの難しいことを考える。

出てきた意見から、自分達にできる工夫を考え実践する。
体験後は感想記入、発表し振り返る。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

生徒達自身が実体験することで、歩く時との速度の違いや車椅子利用者が椅子を使いにくいことが分かった。

そこから、支援者が車椅子を押すことや、椅子を使うのではなく、車椅子も入れる囲いをビニールテープでつくり椅子代わりにすることなどの意見を出し、実際に行ってみることができた。

これまでイメージしたり、気持ちを考えたりすることは難しかったが、実際に体験することで、具体的に実感し、手助けも実際に行いやすくなった。

<その他（材料、費用、購入先等）>

三色のビニールテープ